

マンガ



人権裁判で会社の嫌がらせを終わらせた上野仁の物語

東芝に勝った男

ブラックな職場が多すぎる！



サービス残業があたり前の職場



市区町村でのパート



アパレル系のショップ



マスコミ系の大手の派遣社員

いろんな企業が問題を起こしました

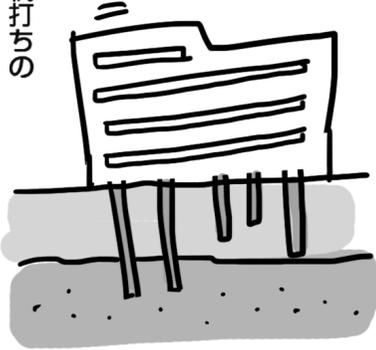
電通

新入社員が過労の末に自殺



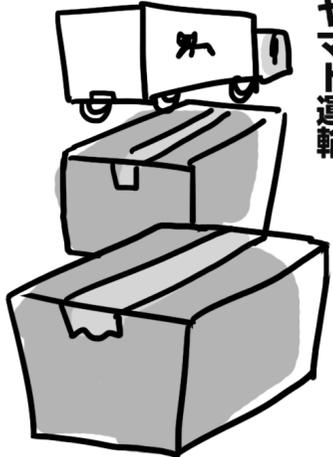
旭化成建材

マンションの杭打ちのデータ改ざん



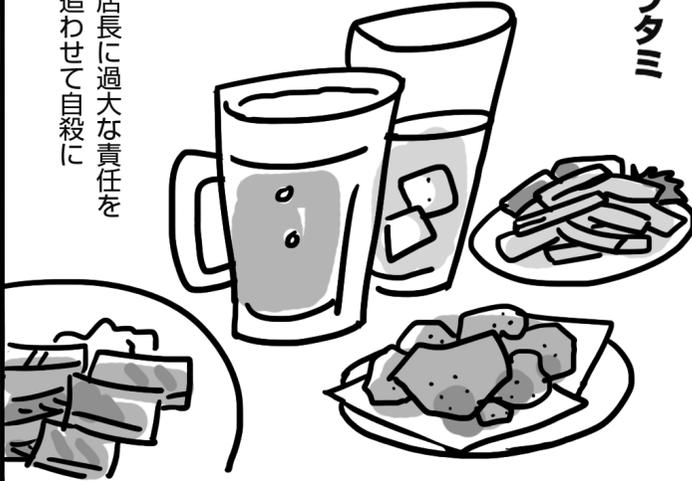
ヤマト運輸

残業代の未払いが約200億円



ワタミ

店長に過大な責任を
追わせて自殺に

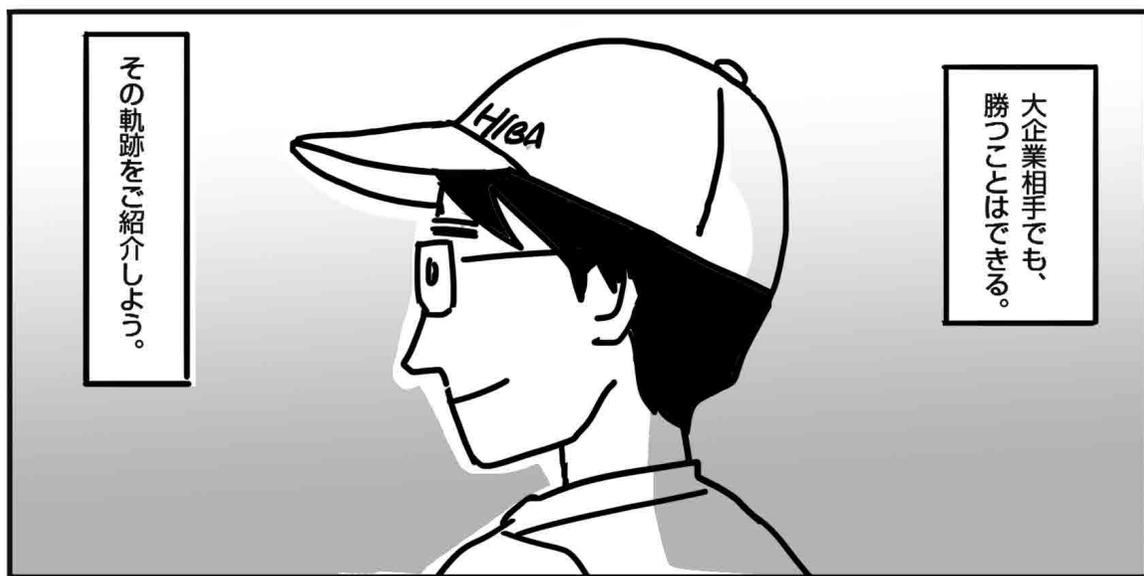
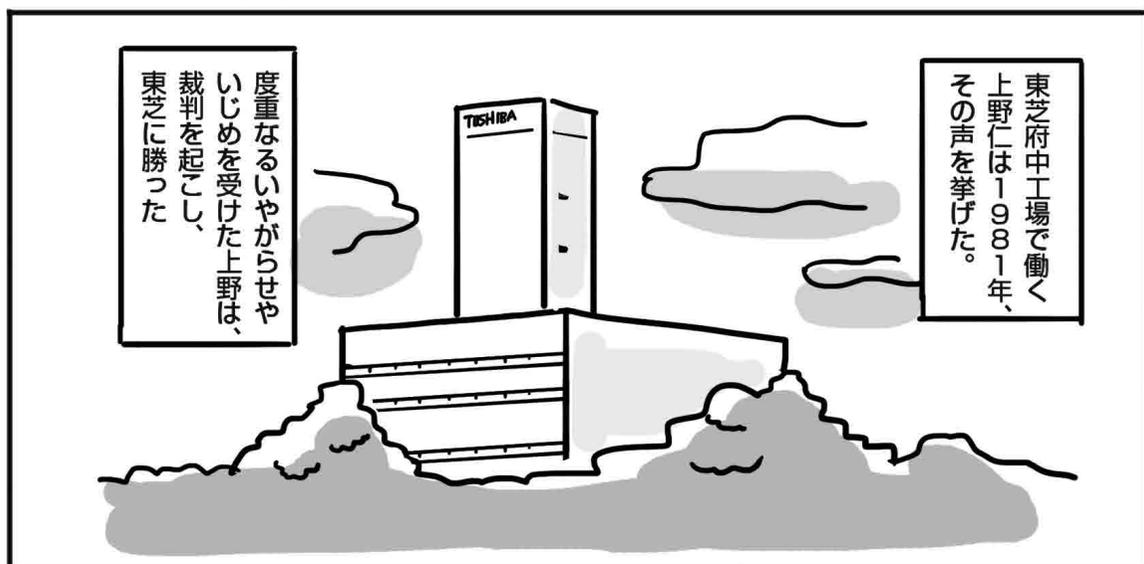


東洋ゴム

免震パネルの試験データ偽装



さまざまな業種で
起こっている
こういった問題。
小さな企業であれば、
報じられないほうが多いはず。
では、
こんなことにならない方法とは？





東芝府中工場
上野仁と「守る会」の軌跡

人権の光は輝いた

東

府中

の門

原発製造の現場で

1981年
東京都府中市
東芝府中工場

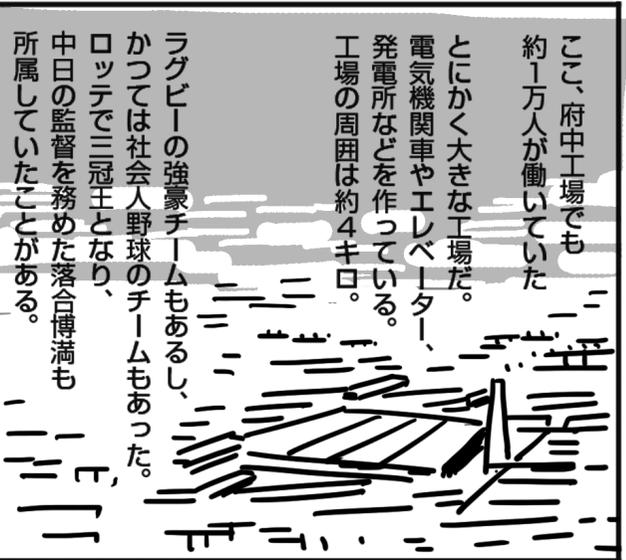
上野仁 24歳
材料加工部製缶課

うでを前に
挙げて！

2017年現在、
巨額の赤字を抱える
企業となつてしまった東芝だが、
当時は全国に7万人の従業員を
抱える大企業



ここ、府中工場でも
約1万人が働いていた
とにかく大きな工場だ。
電気機関車やエレベーター、
発電所などを作っている。
工場の周囲は約4キロ。
ラグビーの強豪チームもあるし、
かつては社会人野球のチームもあった。
ロッテで三冠王となり、
中日の監督を務めた落合博満も
所属していたことがある。



上野の職場は製缶課。
缶といつても缶詰の缶ではない。
発電所の制御装置を入れる
巨大な金属の箱を作る。
まさに職人の世界だ。



高卒後、東芝への就職と同時に
秋田から上京した上野は、入社7年目。
仕事の腕前には一言ある職人が揃つ
職場の中では、まだまだ新米の部類だが、
上野も第15回技能五輪全国大会で
銅メダルをとったこともある。
腕は確かだ。
日々、忙しく働いていた

上野、
今やってる仕事、
今日中に
終わらせとけよ

はい、作業長。
もうすぐ
終わりますよ



4月10日
そんな職場が
一変した――

上野、きのうのピラは何だ！
反省書を書け！
原文は俺が書く



上野が同僚に渡した
一枚のピラ。
これが上長の乙川製道長(仮名)に
見つかれば反省書を強要されたのだ



一日考えさせて
ください

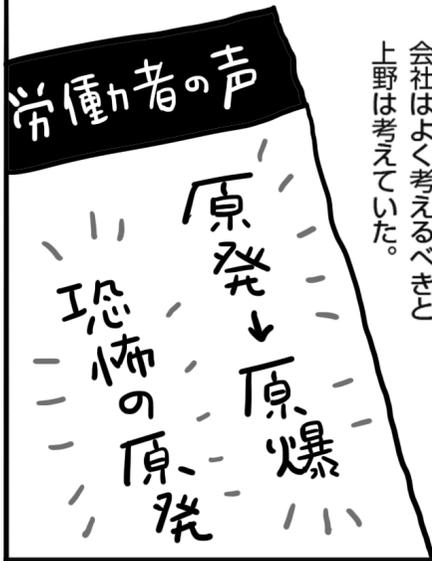
ふざけるな！
おまえが書かないなら
俺がおまえのはんこを押す



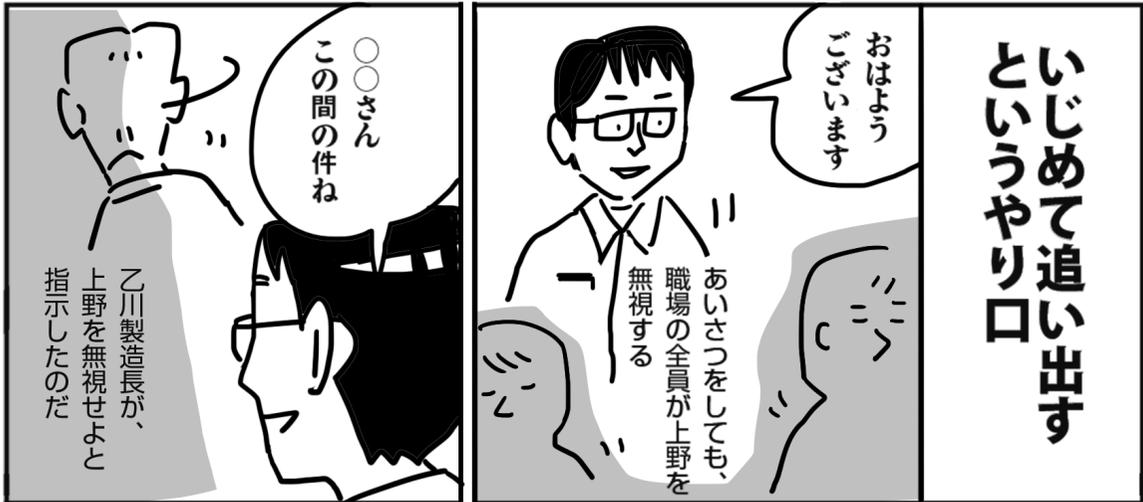
いぢです

貸せ
あ

東芝府中工場では1960年代から
原子力発電所を作っていた。
上野もその一部を作っていたのだが、
原発のことをくわしく調べてみると
あまりに危険が多い。
原発の危険性について、
会社はよく考えるべきと
上野は考えていた。



この日乙川作業長が書いた文面を
上野が書き写したところ、
丙杉作業長(仮名)とともにそのメモを
力ずくで奪い取り、
反省書は破り捨てられた。
この一件以来、上野は職場の誰からも
あいさつを返されなくなった





休憩中に目をつむる。
誰もかやっていることなのに、
それをとらえて始末書を要求する上司

仕事に
いねむりしたな!
反省書書け!



さらにやり方は
エスカレートしていく

おい上野!

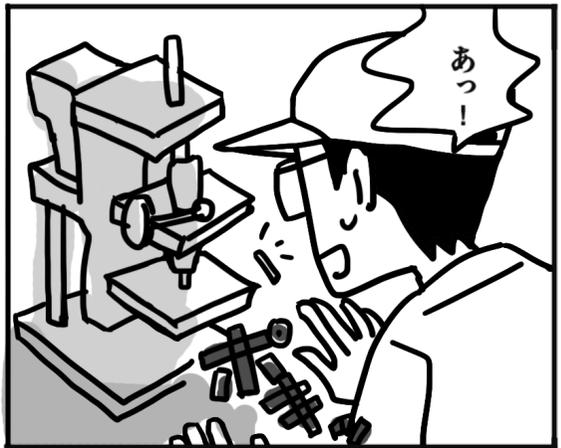
はっ!
いっ!!



反省書だ!

はあ!?

よくこわれる工具を
破損しただけで
反省書を要求。
何時間も怒鳴りつけ
無理矢理に書かせる

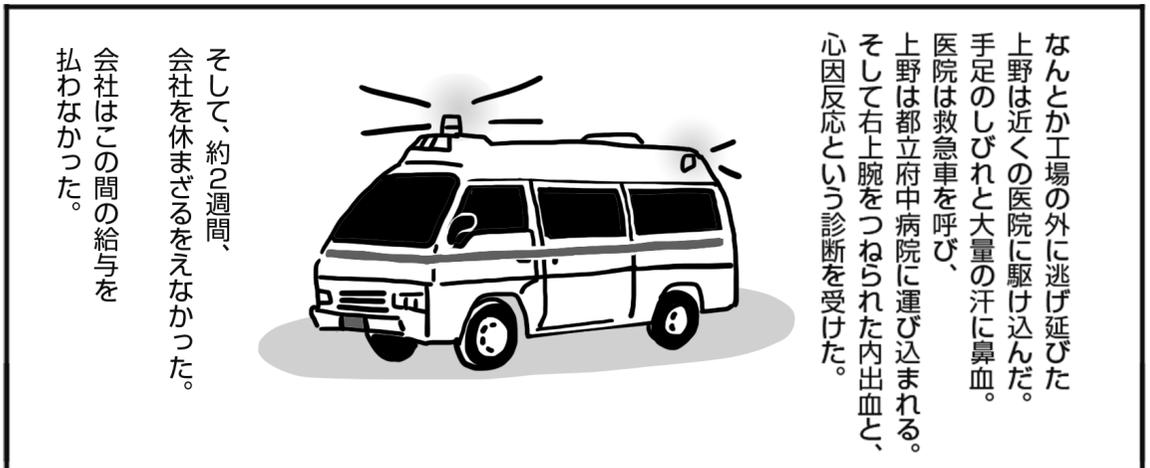


あっ!



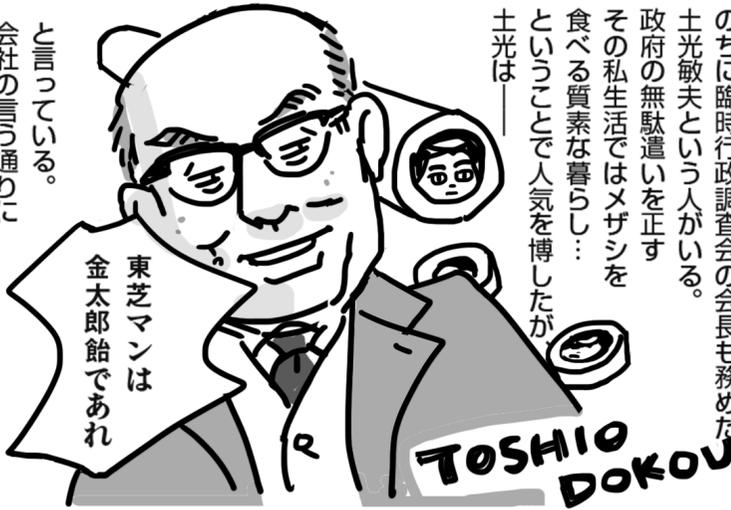
職場で孤立させた上で
連日こういつたいいやがらせをして
精神的に追い詰め、
退職へ追い込むのが
狙いなのだ

上野は精神的に
ギリギリのところまで
追いつめられたが、
毎日記録を残した



反撃の手段は 裁判

1960年代に東芝の社長となり、のちに臨時行政調査会の会長も務めた土光敏夫という人がいる。政府の無駄遣いを正すその私生活ではメザシを食べる質素な暮らし：ということ人で人気を博したが土光は――



と言っている。
会社の言う通りに
なんでも言うことを聞く
人間以外はいらぬといふことだ。

※「メザシ」については政治的な意図で演出されたものと明らかになっている。

そういう会社に対して、労働組合に相談すれば力になってくれるはず。だが、上野は東芝府中労組からこう言われている

われわれは
あなたを
監視します



「始末書は書きたくなくても会社に求められたら書かねばならぬ」とも労組の書記長は言っている。労働組合も会社の言うなりなのだ。

府中市



東芝府中工場で働く人は、府中市内にはたくさんいる。関連会社や下請けで関わる人もいる。府中市の市議会にも府中工場関連の議員が複数いる。つまり、地域にも大きな影響力を持っている。

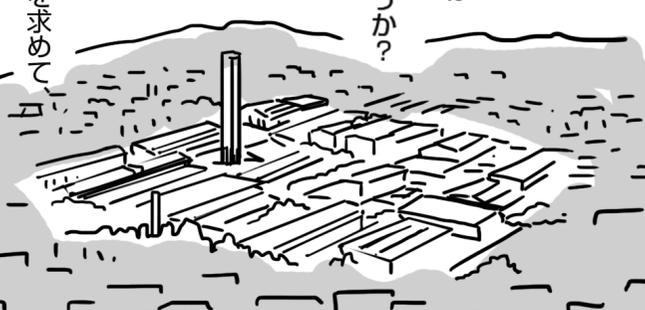
東芝はそれほどまでに大きな力を持っている。

しかし、異議をとねえればいじめで追い出す。そんなことでよいのだろうか？

上野はただ働きつづけたと思った。しかしこのままでは精神的にあまりにつらい。

そこで、会社を休まざるをえなかった約2週間の賃金と慰謝料を求めて

1982年1月21日、東芝と上司を相手に裁判を起こした。

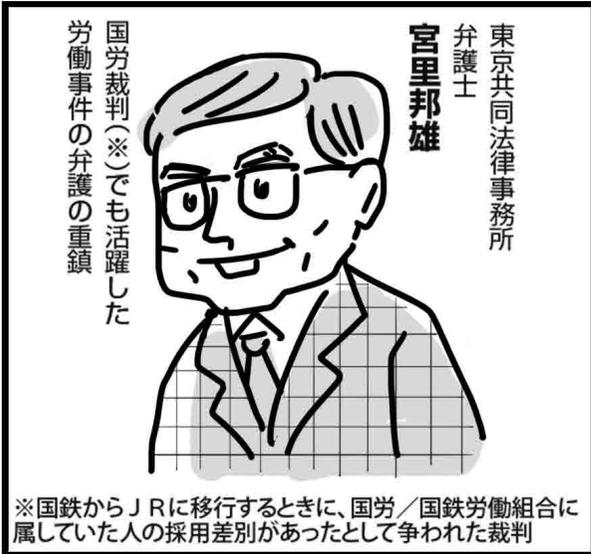




上野には、工場の中に
わすかだが仲間がいた。
原発についての
学習会をしていた仲間だ。

その仲間たちが中心となり、
「東芝府中工場から職場八分をなくし
上野仁さんを守る会」が作られた。
そして、上野への支援を
広く呼びかけはじめた。

この問題に関心を寄せ、
支援してくれる人が、
少しずつ集まりはじめた



東京共同法律事務所
弁護士
宮里邦雄

国労裁判(※)でも活躍した
労働事件の弁護の重鎮

※国鉄からJRに移行するときに、国労/国鉄労働組合に
属していた人の採用差別があったとして争われた裁判



甲南大学教授
熊沢誠

上野の事件を雑誌や書籍で書い
た。「民主主義は工場の門前で立
ちすくむ」などの著書がある。

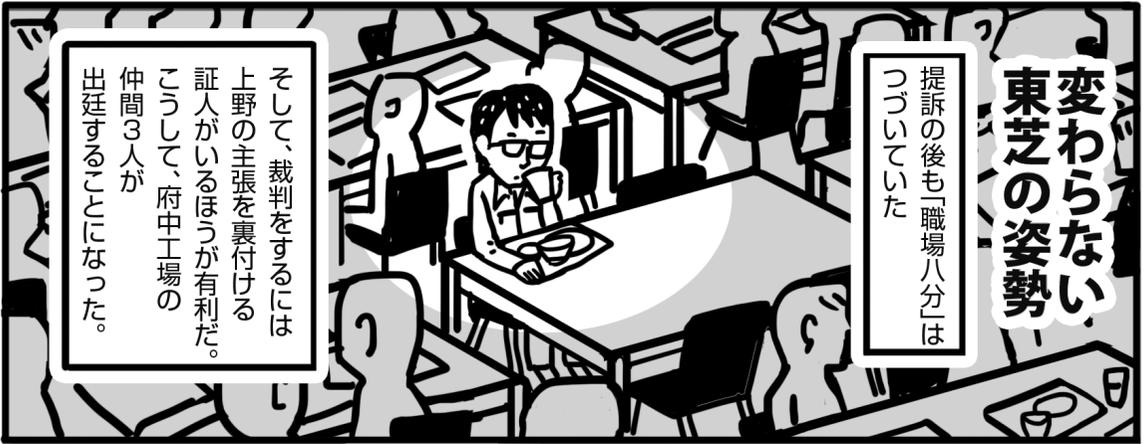


提訴によって、上野の事件は
広く知られるようになった。
週刊誌や新聞でも、とりあげられた。

変わらない 東芝の姿勢

提訴の後も「職場八分」は
つづいていた

そして、裁判をするには
上野の主張を裏付ける
証人がいるほうが有利だ。
こうして、府中工場の
仲間3人が
出廷することになった。



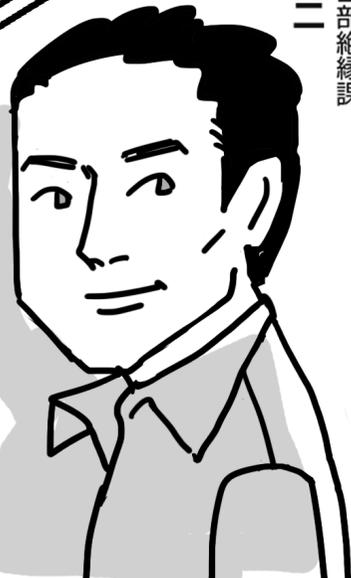
重電技術研究所
金属材料技術担当グループ
川名法男



材料加工部塗装課
正井幸一



材料加工部絶縁課
松野哲一



上野側の証人となった
3人に対して東芝は、
上野と同じように
「八分」をしてきた。

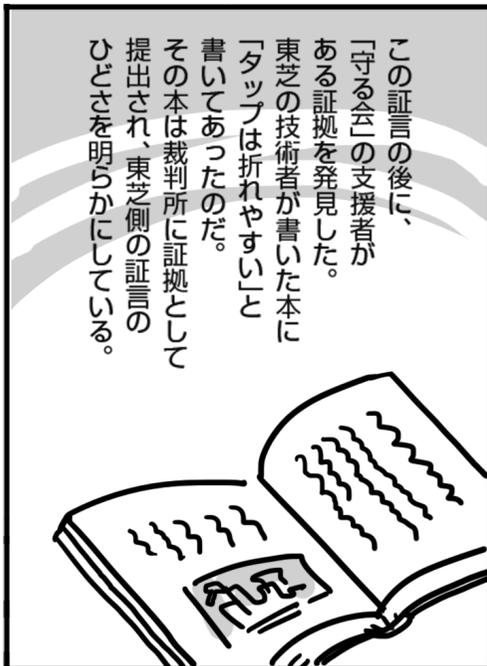
昼時に混雑する工場の
食堂で、自分の座った席に
誰一人として
座ろうとしない。
職場でも、誰もあいさつを
返してくれない。

上野と3人は、
裁判と同時に
日々の「八分」とも
たたかわなければ
ならなかった。



裁判所でも
東芝のやり方は露骨だった

公判の傍聴に
東芝府中ラグビー部の
選手たちを動員して
圧力をかけた



この証言の後に、「守る云」の支援者がある証拠を発見した。東芝の技術者が書いた本に「タップは折れやすい」と書いてあったのだ。その本は裁判所に証拠として提出され、東芝側の証言のひびきを明らかにしている。



まず折れる
ことはありません

上野が折って反省書をとられた
ネジを切る工具の一つ
「タップ」については、
よく折れるものなのに
事実をねじ曲げて証言

東芝側証人



東芝側の被告乙川製造長と証人4名、
上野側は原告の上野仁と証人3名、
一審だけでも8年に及んだ。

広がる 上野への支援

裁判には金がかかる
上野と「守る会」にとって支援者を
集めることは大きな課題だった

夏冬のポーナスの時期には、
支援者に手紙を送り、
カンパを募った

年に一度の大きな集会では
著名な講演者を招き
集会のスタイルも型には
まらないものを目指した

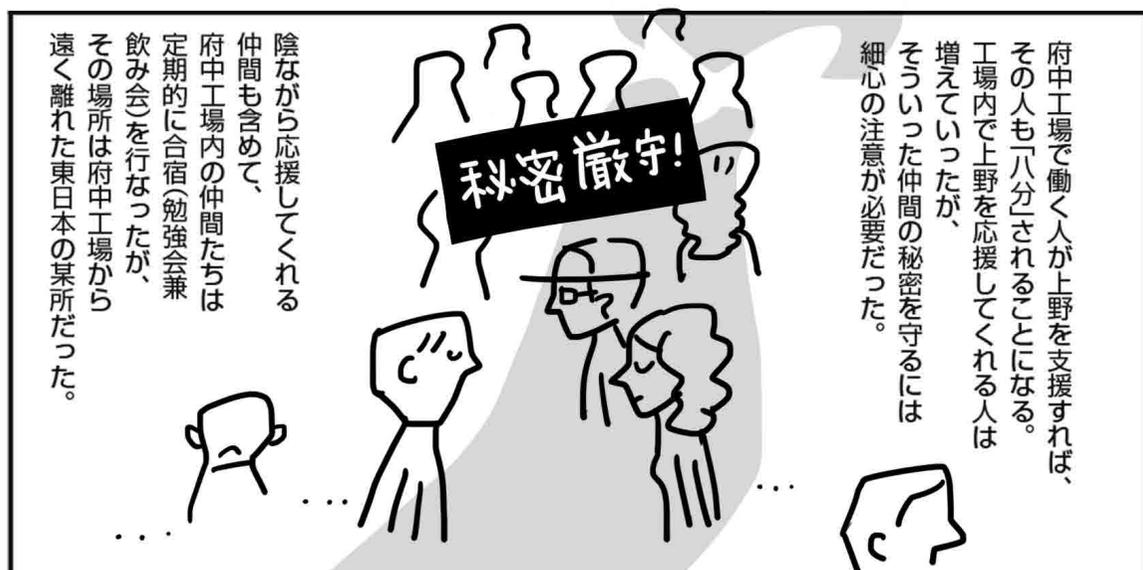
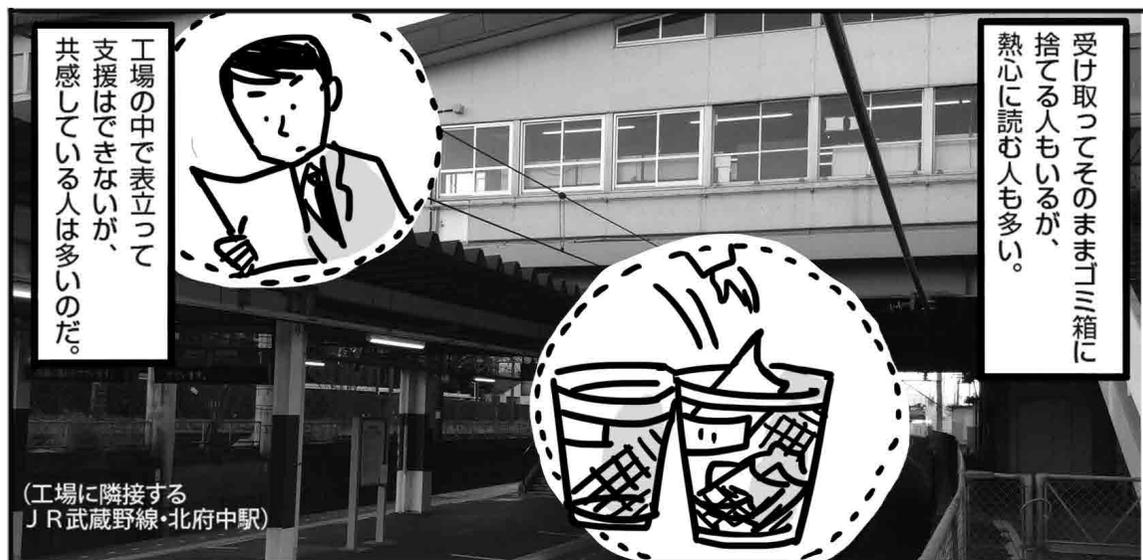
集会の前には工場の
近くにもポスターを貼った

労働組合や各種の支援団体にも連絡し、
また他の団体の集会にも参加し
仲間を集めた

支援者に送るだけでなく、
府中駅や各種の集会で
これを配布した

裁判の経過を伝える
ニュースも定期的に
発行していた





判決 東芝の敗走

1990年2月1日
東京地裁八王子支部

提訴から8年でついに判決の日。
この日も「守る会」、東芝側ともに
たくさんの傍聴希望者が列を作った。

この位置を先頭に
一列に並んで下さい。
東京地裁裁判所八王子支部

東芝の傍聴者は府中工場や本社の社員。
東芝は公判の度に40名ほどの社員を
送り込み、圧力をかけつづけた。

対する「守る会」側は、
学生から、会社員、教員、主婦、
翻訳者、研究者、高齢者まで
老若男女さまざま。

反原発、労働問題、
個人的なつながり、市民運動……
「守る会」で支援する動機は
集まる人それぞれ。
「がんばれ上野」が
共通していればよいのだ。

まっしぐらよ

主文



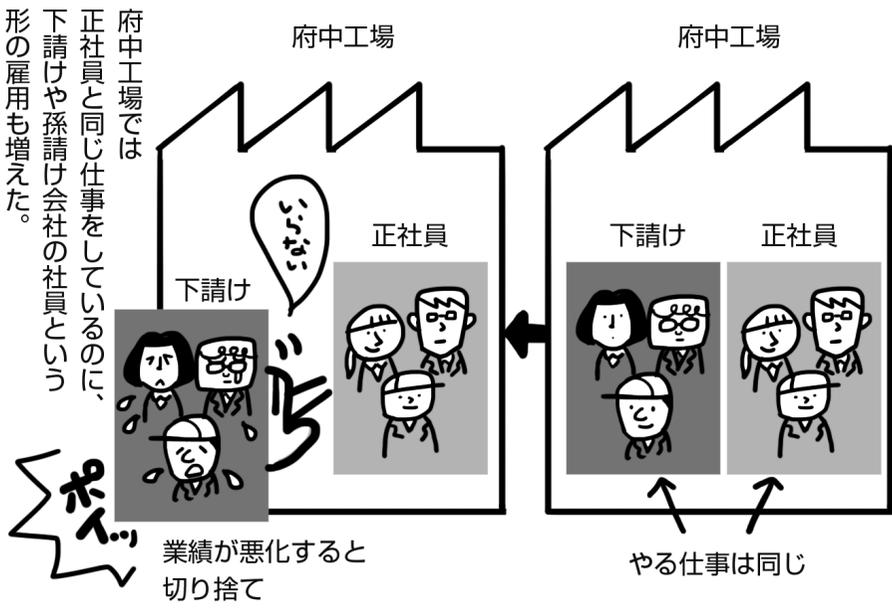
後日談

上野と3人の仲間は判決後も府中工場で、それぞれ60歳の定年を迎えるまで働きつづけた。



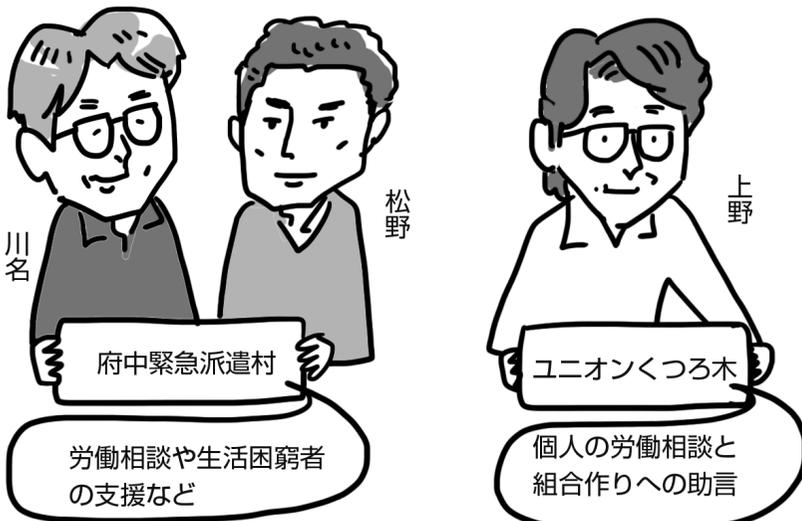
上野が定年となったのは2016年9月末。判決の確定から24年働いたことになる。定年後も雇用延長制度のもと府中工場で働きつづけている。

判決確定からの24年でいろいろなことが変わった。



府中工場では正社員と同じ仕事をしているのに、下請けや孫請け会社の社員という形の雇用も増えた。より安く雇い、業績が傾けば簡単に切り捨てる——そんな仕組みが普通になってしまった。

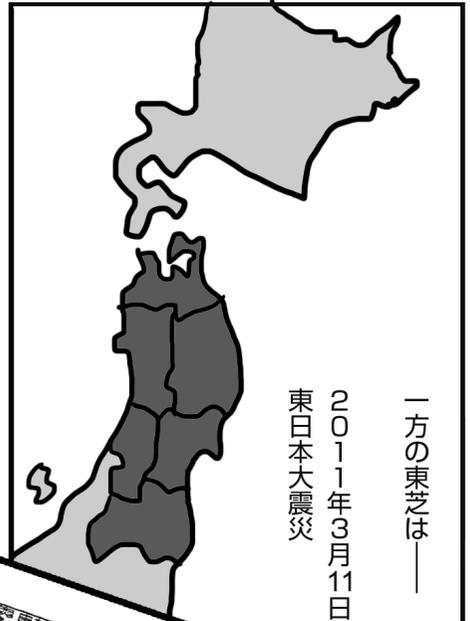
自分たちが裁判でつちかった経験を活かそうと、上野、松野、川名はそれぞれ労働者の権利を守る活動をつづけている。



一方の東芝は――

2011年3月11日

東日本大震災



津波の影響で、福島第一原発が制御不能の状態となり、建屋の爆発や炉心溶融など史上最悪レベルの事故を起こす。

事故を起こしたうちの3号機は

東芝製だった

(同じ号機は、GEEとの合作)

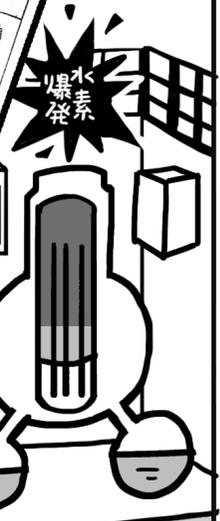


甲第八号証
労働者の声

東芝の米原発電所

項目	東芝	三菱	日立
設備開始年	68.0	23.7	34.4
容量	18.3	21.1	39.1
総出力	770.4	6	30

東芝の米原発電所は、1968年に稼働を開始した。当時は、東芝の技術力が評価され、三菱や日立と比べて、設備開始年が最も遅いにもかかわらず、容量や総出力で優れていた。しかし、2011年の福島第一原発事故以降、東芝の米原発電所も、原子力規制委員会の規制強化により、運転停止のリスクに直面している。労働者は、東芝の安全管理体制や、事故対応への対応力を懸念している。



原発の危険性について疑問を呈していた上野らの指摘は、30数年を経て現実のものになってしまった。

2015年以降の東芝もひどい不正会計による粉飾決算を長く続けていたことが発覚。2016年には、買収していた米原発企業ウエスチングハウスの影響で約1兆円もの赤字を抱え込み、上場廃止目前まで追い込まれている。



会社に異議をとなえる人間を、組織ぐるみでいじめ抜いて追い出そうとする体質が、こんな事態につながったのではないだろうか？

困っている
あなたへ



このマンガを読んだあなたも、
仕事で困っていることがある
かもしれない



一人ひとりの悩みは深刻だ。
でも、あなたと同じような
問題は過去にもあった

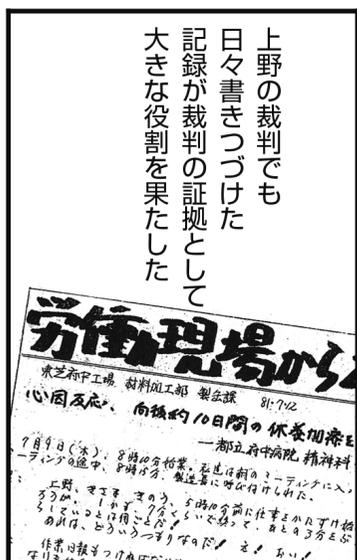
そんな時に
どんな解決があるのかも、
専門家はよく知っている。
まずは相談できる
人や団体を探そう!





そして大切なのは記録を残すこと

タイムカードを
写メで撮っておく



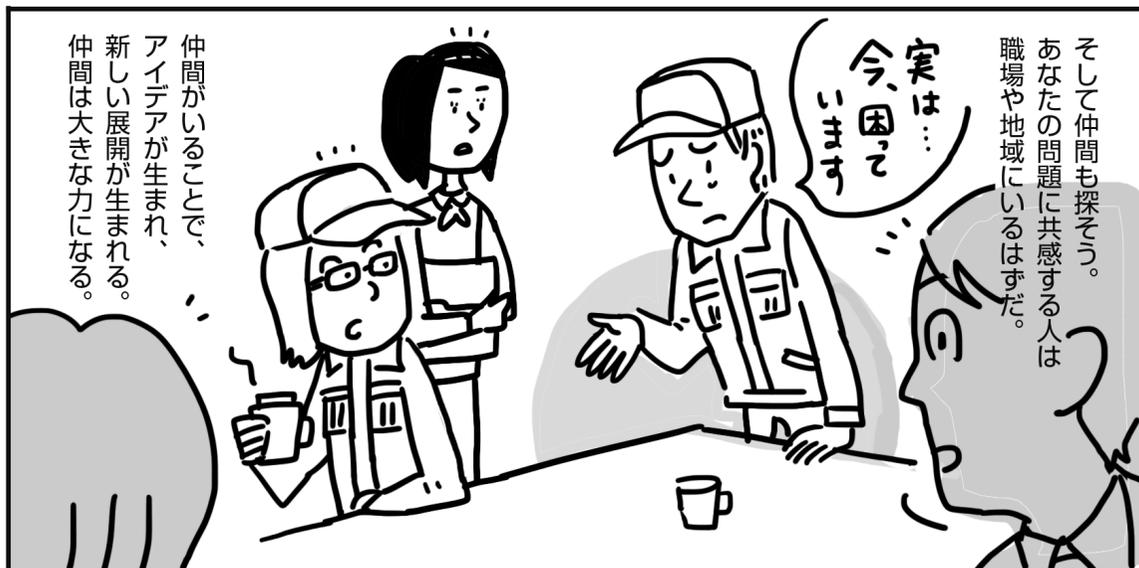
上野の裁判でも
日々書きつづけた
記録が裁判の証拠として
大きな役割を果たした



上司のムチャな言い分を
録音やメモで残す

遅刻10分で
給料から
3千円引くぞ!

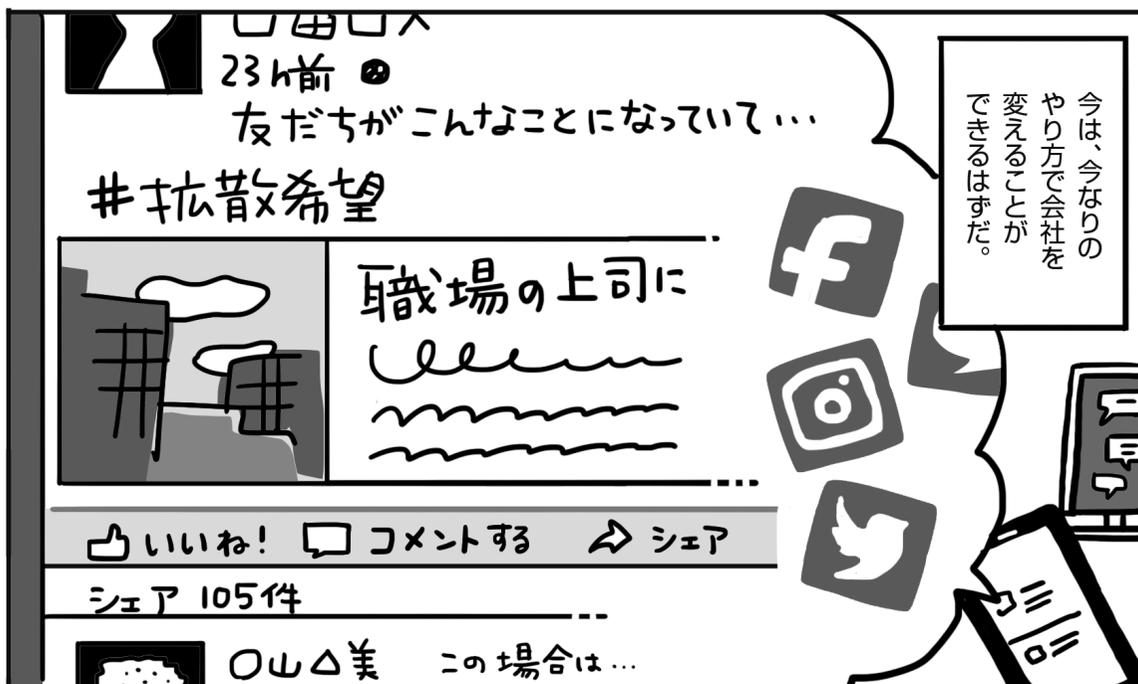
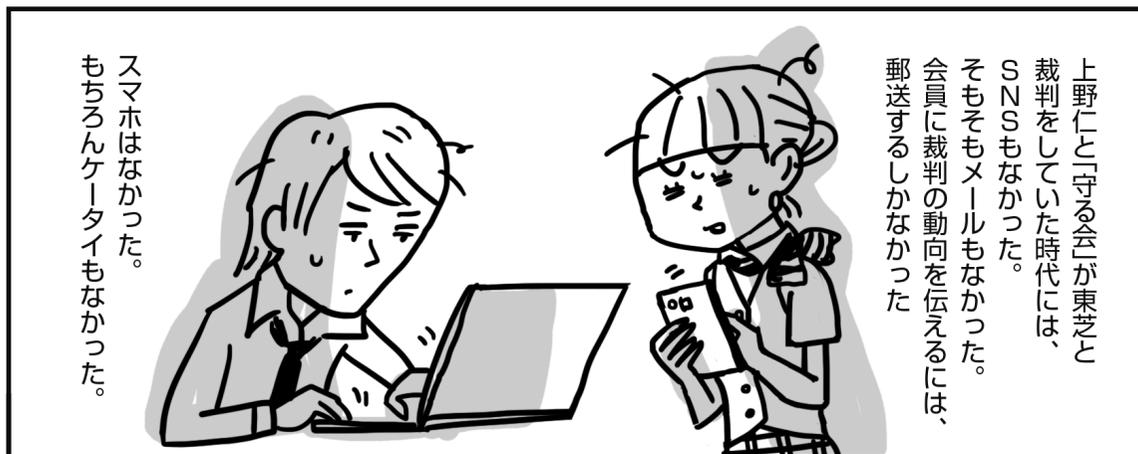
ガミガミ



そして仲間も探そう。
あなたの問題に共感する人は
職場や地域にいるはずだ。

実は...
今困って
います

仲間がいることで、
アイディアが生まれ、
新しい展開が生まれる。
仲間は大きな力になる。



東芝府中工場上野仁さん人権裁判について

このマンガは実話です。

東芝府中工場で働く上野仁さん(61)は、職場八分にされ、ちょっととしたミスや、職場で誰もがやっていることをとがめられて始末書や反省書を無理やり書かされ、心因反応の結果、約2週間会社を休みました。

会社に対していじめをやめるよう抗議しましたが拒否されたため、1982年、東芝と上司を相手に裁判を起こしました。会社を休んだ分の賃金と慰謝料を求めたのです。

裁判は長く続きましたが、1990年についに勝利します。しかし、東芝は判決を不服として控訴。東京高等裁判所で裁判が続きましたが、新しい証拠で追い詰められた東芝は、最後は控訴を取下げました。こうして、裁判は上野さんの勝利に終わりました。

その後も府中工場で働きつづけた上野仁さんは2016年に定年を迎えました。それを節目に、裁判や上野さんを支えた人た

ちの資料をまとめた記録集が作られました。

このマンガは、その記録集の副読本として作られました。裁判のことを広く伝え、今さまざまな職場で困っている人たちにも何かヒントを伝えようと考えられています。

こういった目的があるため、コピーしたり、コピーを配布したり、スキャンして複製することができません。インターネット上の無料配布も可能です。許可をとる必要もありません。

上野さんの裁判は1992年に終わりましたが、ブラック企業が問題となり、東芝が崩壊しつつあり、原発が問題となった今こそ、その意義は問い直されるべきものと思います。ぜひこのマンガのことを、身近で困っている人にお伝えください。

「東芝府中工場から職場八分をなくし

上野仁さんを守る会」記録集編集委員会

東芝に勝った男

2018年2月25日 発行

編集・発行 「東芝府中工場から職場八分をなくし
上野仁さんを守る会」記録集編集委員会

連絡先 〒156-0044世田谷区赤堤3-12-11松野哲二方
toshibasaiban@yahoo.co.jp

お問合せ・ご感想等は、上記連絡先への郵便や
メール等をお願いいたします。

編集協力・漫画原作 細川工房

漫画 Chinatsu A

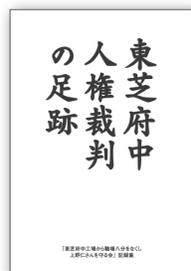
印刷所 有限会社ねこのしっぽ

*印刷版の頒価280円(送料込み)。ダウンロード版は無料。

無料版ダウンロード先

<https://blogs.yahoo.co.jp/toshibasaiban>

(同時刊行の記録集も注文できます)



記録集
『東芝府中
人権裁判の足跡』
1500円(送料360円)

上野さんの裁判について、より深く知りたい方には記録集をお勧めいたします。

「東芝府中工場から職場八分をなくし上野仁さんを守る会」
記録集編集委員会